

枚方市文化芸術振興計画の進捗状況
[令和5年度分 総括]

案

施策の柱	I 文化芸術活動を通じて交流するまち
基本的な施策	1. 市民の文化芸術活動の機会の充実
取り組みの方向性	■市民の積極的な文化芸術活動を支援し、世代間や地域社会での交流を深め、活動の場を広げます。

〈令和5年度の主な取組実績〉

①文化芸術活動の拠点施設での優れた文化芸術事業の実施

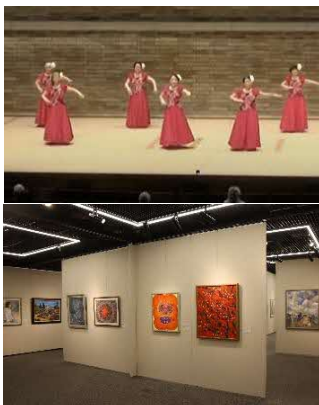
まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術の拠点施設である総合文化芸術センターにおいて、令和5年度は79事業を実施。

- ・ウィーン少年合唱団 令和5年5月5日(金祝) 1,226人
- ・日生劇場ファミリーフェスティバル 2023 公演「精霊の守り人」 令和5年8月13日(日) 1,406人
- ・劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」 令和5年9月15日(金) 1,468人
- ・新国立劇場バレエ団「クラシックバレエハイライト」 令和6年3月9日(土) 1,398人



会場 総合文化芸術センター
担当課 文化生涯学習課

②「市民総合文化祭 2023」の開催



生涯学習市民センターなどで行われている市民の日ごろの文化芸術活動の発表機会の提供や、ジャンルを超えた交流、賑わいを創出するために実施。舞台部門（合唱、吹奏楽、演劇、人形劇、三曲、舞踊（日本舞踊）、落語、器楽・声楽、アラカルト）、展示部門（絵画、書道、写真）、短歌・俳句部門（短歌・俳句）の計3部門14ジャンルを開催。

期日 令和5年8月26日(土)～9月3日(日)
会場 総合文化芸術センター
来場者数 7,575人（昨年度6,545人）
担当課 文化生涯学習課

③「第3回枚方市展」の開催



文化芸術を担う人材の育成や美術活動の更なる活性化を目的として、総合文化芸術センターの開館を機に開催している公募選抜美術工芸展。日本画、洋画・版画、彫塑・立体、工芸、書、写真の6部門を開催。審査員による審査の結果、入賞、入選した作品を展示。

期 日	令和5年12月20日(水)～25日(月)
会 場	総合文化芸術センター
来場者数	3,033人(昨年度2,156人)
応募作品数	318点(昨年度368点)
入選作品数	163点(昨年度180点)
担当課	文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

市民総合文化祭や市展の来場者数が昨年度を上回るなど、総合文化芸術センターの令和5年度の来場者数が40万人を超えたことから、利用者のニーズに沿った事業ができ、集客や賑わいの創出も達成できていると考える。

今後も幅広いジャンルの鑑賞事業を実施するとともに、利用されることがない方をはじめ来館したことがない市民ニーズを調査し、さらに多くの方からご利用いただける施設となるよう、文化芸術事業を充実させていく必要がある。

また、文化芸術の交流の促進や総合文化芸術センターでのデジタル技術を活用した事業の実施に取り組む必要がある。

施策の柱	I 文化芸術活動を通じて交流するまち
基本的な施策	2. 子どもや若い世代の文化芸術活動の機会の充実
取り組みの方向性	<p>■子どもや若い世代が優れた文化芸術を鑑賞し、体験する機会の充実により、子どもたちの感性や想像力を育みます。</p> <p>■子どもや若い世代が自ら積極的に文化芸術を創作し、発表する機会の充実を図ることで、子どもたちのやる気や励みにつなげます。</p> <p>■子どもや若い世代を対象とした市民の文化芸術に関する活動を支援します。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①枚方ジュニア・ウインド・オーケストラ育成事業



大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業。市内在住・在学の中学1年生から高校3年生を対象に公募を行い「枚方ジュニア・ウインド・オーケストラ」を結成。プロの演奏家の指導により、練習や演奏会を経験することで、将来の文化芸術を担う人材を育成することを目的に実施。

期 日 令和6年1月21日(日)
 会 場 総合文化芸術センター
 団員数 39人(昨年度44人)
 来場者数 605人(昨年度486人)
 担当課 文化生涯学習課

②「ひらかた将棋イベント」の開催



本市のPR大使である前日本将棋連盟会長の佐藤康光九段をはじめ、長沼洋八段、小林裕士八段の枚方ゆかりのプロ棋士3名を迎え、子どもたちがプロから直接指導を受け、日本の伝統的娯楽である将棋に触れる機会を提供するために開催。トーナメントコース優勝者は佐藤九段との夢の対局に挑戦。

期 日 令和5年8月5日(土)
 会 場 総合文化芸術センター
 参加者数 ①入門・初級コース 33人(昨年度31人)
 ②中級コース 31人(昨年度46人)
 ③トーナメントコース 32人(昨年31度人)
 担当課 文化生涯学習課

③小学生演劇ワークショップ「コミュニケーション授業」の実施



劇作家・演出家の平田オリザ氏を講師に、演劇の手法を用いて子どもたちの表現力やコミュニケーション能力の向上を図るため、コミュニケーション授業を実施。対象は市立小学校6年生。

期 日	通年
会 場	各市立小学校
実施校	13校
担当課	文化生涯学習課

④高校演劇D地区大会会場の提供

演劇の活性化を図るため、大阪府高等学校演劇研究大会のD地区（主に北河内地区）大会の会場（南部生涯学習市民センター）を提供。更なる活性化を図るため、令和6年度から会場を最新の機材等が整備されている総合文化芸術センター小ホールに移す。

期 日	令和5年11月9日(木)～12日(日)
会 場	南部生涯学習市民センターのホール等
担当課	文化生涯学習課

⑤枚方市少年少女合唱団事業の実施



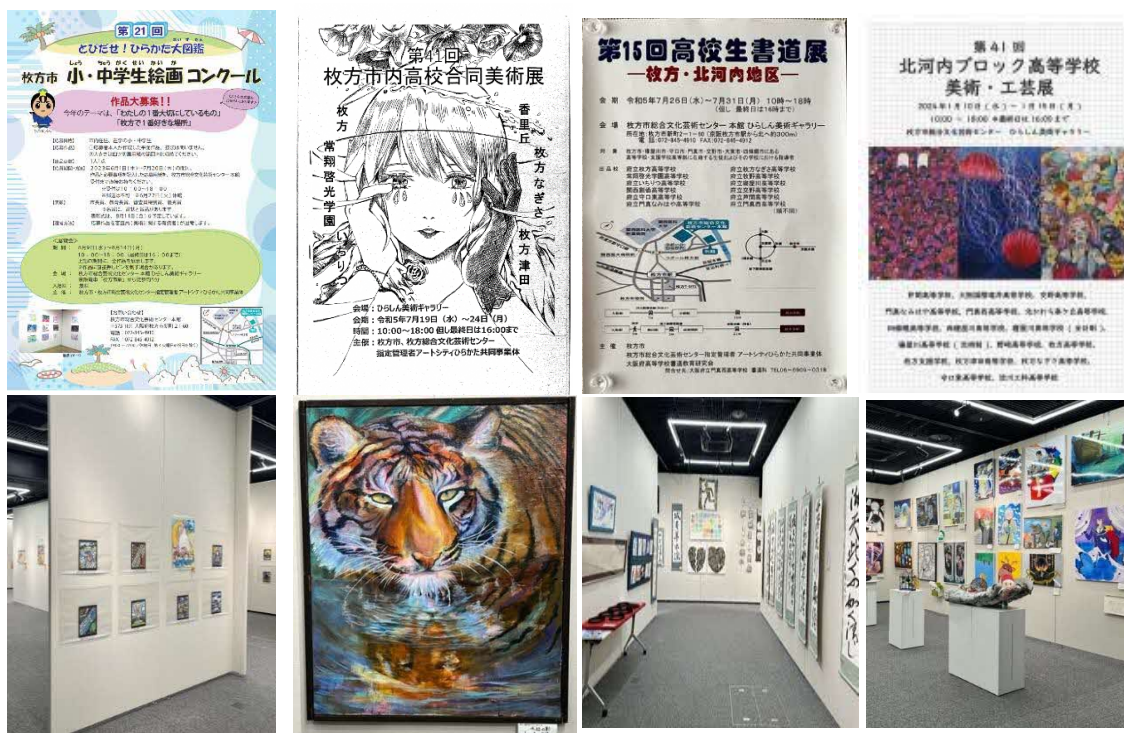
枚方公園青少年センターを拠点に活動している市公設の「枚方市少年少女合唱団」の定期発表会を開催。

※枚方市少年少女合唱団は、音楽を通して青少年の健全な育成と市民文化の向上に寄与することを目的とし、昭和46年に結成。小学校3年生～高校3年生の団員で構成。

期 日	令和5年8月19日(土)
会 場	総合文化芸術センター
団員数	47人(昨年度40人)
来場者数	623人(昨年度412人)
担当課	子ども青少年政策課

⑥創作・活動し、その成果を発表する機会を創出する事業

- ・ 第 21 回とびだせ!ひらかた大図鑑 枚方市小中学生絵画コンクール
令和5年6月1日(木)～7月20日(木) 535人(昨年度628人)
- ・ 第41回枚方市内高校合同美術展
令和5年7月19日(水)～24日(月) 608人(昨年度407人)
- ・ 第15回高校生書道展
令和5年7月26日(水)～31日(月) 661人(昨年度566人)
- ・ 北河内ブロック高等学校美術・工芸展
令和6年1月10日(水)～15日(月)564人(昨年度544人)



会 場 総合文化芸術センター
 担当課 文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

子どもや若い世代のうちに文化芸術に触れることは、文化芸術への興味や関心を持たせ、本市の文化芸術の裾野を広げることにつながることから、教育委員会などと連携して、引き続き実施していく。

施策の柱	I 文化芸術活動を通じて交流するまち
基本的な施策	3. 学校教育における文化芸術活動の機会の充実
取り組みの方向性	<p>■学校と連携し、文化芸術活動の拠点施設（現市民会館・（仮称）総合文化芸術センター）で、優れた文化芸術を鑑賞し、伝統文化等に対する理解を深める機会の充実に取り組みます。</p> <p>■学校において、学年に応じた文化芸術に関する体験学習等を実施し、文化芸術教育の充実に取り組みます。</p> <p>■芸術家等と学校や学校を支える団体との連携に対し、必要な協力や支援を行います。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①中学校オーケストラ鑑賞事業



全市立中学校1年生全員を対象に、大阪フィルハーモニー交響楽団の生演奏を本格的なホール空間で体験してもらうことを目的に演奏会を実施。

期 日 令和6年1月29日(月)～30日(火)
 会 場 総合文化芸術センター
 来場者数 2,956人（昨年度3,237人）
 担当課 文化生涯学習課・教育指導課

②小学校アウトリーチ事業



音楽や舞踊（ダンス）の鑑賞や体験を通して、子どもたちに多様な気付きの機会を提供する目的で、「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を小学校に派遣し、小学5年生または6年生を対象に全員が体験できるように実施。

期 日 通年
 会 場 各市立小学校
 参加者数 3,366人
 実施校 28校（昨年度27校）
 担当課 文化生涯学習課

③枚方市小学校合同音楽会



児童の豊かな情操を養い、小学校間の交流を推進するとともに、小学校在籍中に全ての児童が一度は本格的なホールの舞台（総合文化芸術センター）に立つ経験をするを目的に合同音楽会を実施。

期 日 令和5年6月19日(月)～22日(木)
 会 場 総合文化芸術センター
 参加者数 3,583人
 参加者数 45校（昨年度は新型コロナのため中止）
 担当課 教育指導課

④市内公立中学校生徒美術展



本市の中学校美術教育の充実を図るとともに、市民の中学校美術教育への理解を深めることを目的に実施。市内の公立中学校 19 校の生徒の美術作品を展示する美術展。展示される美術作品は、各中学校の美術担当教員の指導のもと、中学生らしい豊かな感性で制作されたもので、毎年来場者から高い評価を得ている。

期 日	令和6年2月7日(水)～12日(月)祝
会 場	総合文化芸術センター
作品数	約2,100点
来場者数	3,398人(昨年度3,038人)
担当課	教育指導課

⑤枚方市立幼稚園児絵画展



本市の幼児教育の充実を図るとともに、市民に広く公立幼稚園の教育内容を発信するため開催。令和5年度は「子どもたちの絵は、心のつぶやき」をテーマに、公立幼稚園児の絵や作品を展示。

期 日	①令和6年1月10日(水)～16日(火) ②令和6年1月13日(土)～18日(木)
会 場	①香里ヶ丘図書館 ②中央図書館
作品数	308点(昨年度308点)
来場者数	1,250人(昨年度1,205)
担当課	公立保育幼稚園課

〈今後の方向性等〉

子どもたちが学校園において、文化芸術を鑑賞することや作品を創作することは、等しく文化芸術に触れる機会となることから、教育委員会などと連携して引き続き実施していく。

施策の柱	I 文化芸術活動を通じて交流するまち
基本的な施策	4. 障害者等が活発に文化芸術を行うことができる環境の整備
取り組みの方向性	■障害者や高齢者、子育て中の保護者などで配慮が必要な方など、誰もが活発に文化芸術活動を行い、その活動を通じた交流を行うことができる環境を整え、ニーズの把握に努めます。

〈令和5年度の主な取組実績〉

①ミュージック・シェアリングとの連携事業



令和3年11月に連携協定を締結した枚方出身の世界的ヴァイオリニストである五嶋みどり氏が理事長を務めるNPO法人「ミュージック・シェアリング」との連携事業を実施。ひらかた子ども発達支援センターでサポーターアーティストらによるアウトリーチを実施するとともに、大阪府立むらの高等支援学校の生徒と五嶋みどり氏の合同コンサートを開催。

期 日 令和5年6月18日(日)
 会 場 総合文化芸術センター
 来場者数 1,351人(昨年度1,248人)
 担当課 文化生涯学習課、子ども発達支援センター

②ロビーを活用したコンサート

ハワイアンバンドJJ&BB



総合福祉センターや総合福祉会館のロビーで音楽演奏やライブを開催し、施設を訪れた利用者が気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を提供。

期 日 通年
 会 場 総合福祉センターや総合福祉会館のロビー
 開催回数 23回(昨年度21回)
 来場者数 1,018人(昨年度1,129人)
 担当課 長寿・介護保険課、健康福祉政策課

③各地域子育て支援拠点での乳幼児の親子向けの事業



地域子育て支援拠点事業において、ハロウィン制作やクリスマス制作等のイベントを開催。乳幼児と親が文化芸術に触れる機会を提供。

期 日 通年
 会 場 市内の保育園や保育所等の計 13 か所の施設
 来場者数 56,604 人 (昨年度 49,256 人)
 担当課 私立保育幼稚園課

④枚方市総合福祉センター「文化祭」



総合福祉センターの活動団体が日頃の成果を披露するために文化祭（文化自主発表会）を開催。

期 日 令和5年10月13日(金)～10月15日(日)
 会 場 総合福祉センター
 来場者数 展示の部 3,472 人 (昨年度 1,678 人)
 発表の部 421 人 (昨年度 561 人)
 体験の部 342 人 (昨年度 124 人)
 ロビーコンサート 292 人 (昨年度 430 人)
 担当課 長寿・介護保険課

⑤0歳からの親子クラシックコンサート



大阪フィルハーモニー交響楽団と連携した0歳から鑑賞できる演奏会。公演の前後に楽器体験コーナーとして、弦楽器（ヴァイオリン・チェロなど）の楽器体験も実施。

期 日 令和5年5月4日(木祝)
 会 場 総合文化芸術センター
 来場者数 252 人
 担当課 文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

障害者や高齢者、子育て中の保護者などで文化芸術の鑑賞や活動に配慮が必要な方に対して、誰もが文化芸術活動を行うことができるよう、引き続き、活動機会や発表の場を提供していく。

施策の柱	I 文化芸術活動を通じて交流するまち
基本的な施策	5. 国内及び国外の文化芸術活動を行うものとの連携及び交流
取り組みの方向性	<p>■他都市の文化施設との連携により創造発信事業や優れた鑑賞事業に取り組み、より効率的、効果的に事業を実施します。</p> <p>■様々な分野の文化芸術団体の相互交流を促進します。</p> <p>■文化芸術を通じた友好都市交流に取り組み、都市交流や国際文化理解を深めます。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①他都市の施設と連携した文化芸術事業の実施



京阪ホールディングス(株)、(株)エイチ・ツー・オー商業開発と連携し、京阪沿線の各ホールで、沿線で活躍している新進クラシック音楽家の公演「京阪フレッシュアーティスト・リレーコンサート～ひかりはばたく新星たち～」を実施。

期 日 守口・門真(3/9(土))・寝屋川(3/7(木))・枚方(3/17(日))
八幡(3/23(土))・宇治(3/16(土))

会 場 京阪沿線の各ホール(門真市民文化会館・寝屋川市アスカホール・宇治市文化センター・枚方市総合文化芸術センター・八幡市文化センター)

来場者数 131人(枚方)

担当課 文化生涯学習課

②海外の優れた芸術家による文化芸術事業の実施

総合文化芸術センターにおいて、世界で活躍しているアーティストを招聘し、音楽会を開催。

- ・ウィーン少年合唱団 令和5年5月5日(金祝) 1,226人
- ・ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 令和6年1月6日(土) 748人



会 場 総合文化芸術センター
担当課 文化生涯学習課

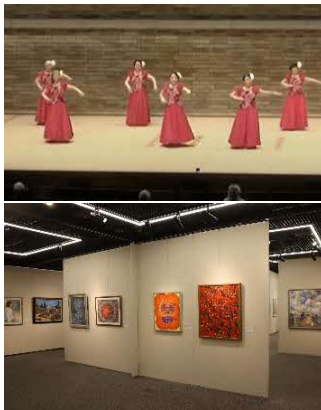
・世界一周音楽の旅～モンゴル編～



各国々の民族音楽や舞踊・歴史・食文化に親しむイベントとして、さだ生涯学習市民センター活動委員会が開催。令和5年度は、モンゴルにスポットを当て、馬頭琴・ホーミーといった民俗楽器の演奏や舞踊等を披露。

期 日 令和6年3月23日(土)
 会 場 さだ生涯学習市民センター
 来場者数 86人
 担当課 文化生涯学習課

③「市民総合文化祭 2023」の開催【再掲】



生涯学習市民センターなどで行われている市民の日ごろの文化芸術活動の発表機会の提供や、ジャンルを超えた交流、賑わいを創出するために実施。舞台部門（合唱、吹奏楽、演劇、人形劇、三曲、舞踊（日本舞踊）、落語、器楽・声楽、アラカルト）、展示部門（絵画、書道、写真）、短歌・俳句部門（短歌・俳句）の計3部門14ジャンルを開催。

期 日 令和5年8月26日(土)～9月3日(日)
 会 場 総合文化芸術センター
 来場者数 7,575人（昨年度6,545人）
 担当課 文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

海外アーティストによる公演については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない状況が続いていたが、コロナの規制が緩和されたことにより実施することができるようになったため、引き続き実施していく。また、京阪沿線のホールとの連携事業については、近隣施設と連携することは相乗効果につながることから、引き続き実施していく。

一方で、国内外の友好都市などとの文化芸術を通じた相互交流を促進する必要がある。

施策の柱	Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち
基本的な施策	1. 文化芸術に対する市民の関心及び理解を深めるための普及啓発
取り組みの方向性	<p>■気軽に参加できる様々な文化芸術を鑑賞する機会の充実を図り、市民の観たい、聴きたい気持ちに働きかけます。</p> <p>■公共施設などにおけるアウトリーチ活動により、意図せず文化芸術に触れ、楽しむことができる空間を作ります。</p> <p>■文化芸術を学び、体感する機会を提供し、文化芸術に対する理解を深めます。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①気軽に参加できる文化芸術事業の実施

枚方ゆかりの若手アーティストによるコンサート等、ワンコインで気軽に参加できるアーツプラウトシリーズ パフォーミングアーツを4回開催。

- ・Vol. 9 田邊優子 エレクトーンリサイタル 令和5年6月1日(木) 302人
- ・Vol. 10 duo futaba クラリネット&ピアノコンサート 令和5年7月4日(火) 305人
- ・Vol. 11 三村詩音 ピアノリサイタル 令和5年10月3日(火) 307人
- ・Vol. 12 藤間皓也 日本舞踊への誘い 令和5年11月9日(木) 198人



会場 総合文化芸術センター
担当課 文化生涯学習課

国内の一流アーティストによるワンコインコンサート。

- ・Vol. 5 福川伸陽 ホルン・リサイタル 令和5年11月25日(土) 1,370人
- ・Vol. 6 石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル 令和6年1月28日(日) 1,436人



会場 総合文化芸術センター
担当課 文化生涯学習課

NHKのど自慢



長きにわたって放送されている長寿番組である「NHKのど自慢」を開催し、市民の音楽への関心を深めるために実施。

期 日 令和6年3月3日(日)
 会 場 総合文化芸術センター
 担当課 文化生涯学習課

大阪フィルハーモニー交響楽団 枚方公演



連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏会を安価な価格設定とし提供。A席 3,500円、B席 1,000円。

期 日 ①令和5年10月7日(土)
 ②令和6年2月18日(日)
 会 場 総合文化芸術センター
 来場者数 ①1,315人 ②1,312人
 担当課 文化生涯学習課

②公共施設のロビーなどにおけるコンサート

- ・平和ライブラリーコンサート Briller saxophone quartet

令和5年8月10日(木) 105人

- ・クリスマスライブラリーコンサート 田邊優子 令和5年12月11日(月) 147人

中央図書館玄関ホールを活用したコンサート。出演は、市アーティストバンク登録アーティスト。鑑賞無料。



会 場 中央図書館玄関ホール
 担当課 中央図書館

③中学校オーケストラ鑑賞事業【再掲】



全市立中学校1年生全員を対象に、大阪フィルハーモニー交響楽団の生演奏を本格的なホール空間で体験してもらうことを目的に演奏会を実施。

期 日 令和6年1月29日(月)～30日(火)
会 場 総合文化芸術センター
来場者数 2,956人(昨年度3,237人)
担当課 文化生涯学習課・教育指導課

④小学校アウトリーチ事業【再掲】



音楽や舞踊(ダンス)の鑑賞や体験を通して、子供たちに多様な気づきの機会を提供する目的で、「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を小学校に派遣し、小学5年生または6年生を対象に全員が体験できるように実施。

期 日 通年
会 場 各市立小学校
参加者数 3,366人
実施校 28校(昨年度27校)
担当課 文化生涯学習課

⑤演劇ワークショップ



1日目のワークショップに参加した参加者が2日目に成果の発表を行うダンスワークショップ「誰でもダンス!」を実施。ファシリテーターはダンスカンパニーC o. 山田うん所属の川合ロン氏ほか。

期 日 令和6年3月16日(土)～17日(日)
会 場 総合文化芸術センター
参加者数 11人
担当課 文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

気軽に文化芸術に触れる機会を創出することや、意図しない場所で文化芸術に触れることは、市民の文化芸術の裾野を拓げることにつながることから、引き続き取り組みを進める。

施策の柱	Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち
基本的な施策	2. 特色ある文化芸術の創造に対する支援
取り組みの方向性	■特色ある文化芸術の創造を支援することで、まちの魅力を創出し、市民のまちへの愛着を深めます。

〈令和5年度の主な取組実績〉

①本市の歴史や風土、伝承文化などの地域資源を題材とした事業

- ・本市の歴史資料館である枚方宿鍵屋資料館で、枚方宿や淀川の歴史を紹介する企画展や伝統文化に関するイベントなどを複数回実施。



担当課 文化財課

- ・国内でも数少ない鋳物資料館である旧田中家鋳物民俗資料館で、鋳造、七宝、彫金、バーナーワーク講座等、鋳物に関連する事業を多数開催。



担当課 文化財課

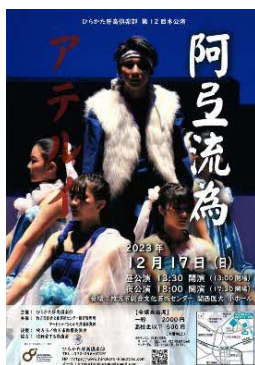
②「市民総合文化祭 2023」の開催【再掲】



生涯学習市民センターなどで行われている市民の日ごろの文化芸術活動の発表の場の提供や、ジャンルを超えた交流、賑わいを創出するために実施。舞台部門（合唱、吹奏楽、演劇、人形劇、三曲、舞踊（日本舞踊）、落語、器楽・声楽、アラカルト）、展示部門（絵画、書道、写真）、短歌・俳句部門（短歌・俳句）の計3部門14ジャンルを開催。

期 日 令和5年8月26日(土)～9月3日(日)
 会 場 総合文化芸術センター
 来場者数 7,575人(昨年度6,545人)
 担当課 文化生涯学習課

③枚方歴史物語「第12回公演 火怨の蝦夷、阿豆流為」



枚方の伝承文化を題材にした文化芸術事業。市内文化芸術団体との共催により、小・中・高校生出演の演劇事業を開催。

期 日 令和5年12月17日(日) 2回公演
会 場 総合文化芸術センター
来場者数 600人(昨年度314人)
担当課 文化生涯学習課

④枚方市民メサイア公演2023



枚方市で活動するアマチュア合唱団の枚方市民メサイア合唱団が、ヘンデルのオラトリオ「メサイア」の公演を実施。

期 日 令和5年12月16日(土)
会 場 総合文化芸術センター
来場者数 1,300人(昨年度789人)
担当課 文化生涯学習課

⑤枚方の美術家展



枚方の美術家が一堂に会する作品展

期 日 令和6年12月13日(水)～18日(月)
会 場 総合文化芸術センター
来場者数 1,300人(昨年度789人)
担当課 文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

本市の地域資源を活かした特色ある文化芸術を活用した取り組みは、市民の郷土愛につながることから、引き続き取り組みを進める。

また、新たな魅力となる文化芸術の創造に対する支援を検討していく必要がある。

施策の柱	Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち
基本的な施策	3. 文化芸術の振興に関し功績があったものに対する顕彰
取り組みの方向性	■文化芸術に関し功績があった人や優れた文化芸術活動を行っている芸術家等に対して顕彰を行い、奨励するとともに、その活動を広く発信します。

〈令和5年度の主な取組実績〉

①市民文化賞の贈呈

国内で最優秀の成績を収めた個人・団体を顕彰する市民文化賞において1件顕彰。
第67回全国書き初め作品展覧会で全国優勝された関西創価小学校に市民文化賞を贈呈。

担当課 総務管理課

②活動の発信

市民文化賞の贈呈を広く発信するため、広報ひらかたや市ホームページに掲載。

美しい字で周りを笑顔に

書き初め日本一の関西創価小に市民文化賞



全国書き初め作品展覧会小学校の部で団体優勝した関西創価小学校（東中振2）に、3月15日、市は市民文化賞

を贈呈しました。個人でも会長賞を受賞した小学2年生の山下美咲さん（写真中央）は「これからも美しい字を書くことで周りの人を笑顔にしていきたい」と喜びを言葉にし、同校の本房達哉校長は「心の成長にもつなげていきたい」と話しました。同校は同展覧会で16回目の全国優勝で、市民文化賞の受賞は9回目となります。

期 日 通年

担当課 広報プロモーション課

（広報ひらかた 令和5年5月号）

〈今後の方向性等〉

市民文化賞の市民への周知や該当者の情報提供など、市民文化賞を広く市民に知ってもらえるよう、情報発信に努める必要がある。

施策の柱	Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち
基本的な施策	4. 事業者、大学及び団体等が行う文化芸術に関する地域貢献活動の促進
取り組みの方向性	<p>■事業者や大学、団体等が行う文化芸術活動支援(メセナ活動)に対する機運を高めます。</p> <p>■事業者や大学、団体等と連携し、新たな魅力づくりや魅力ある文化芸術事業に取り組みます。</p> <p>■学園都市ひらかたの特色を活かし、市と大学が連携した取り組みを推進します。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①ひらかた工芸展の開催



創作美術工芸の振興を図るとともに枚方市の美術工芸文化の高揚を図ることを目的として設立された枚方工芸会会員の作品及び市民公募作品を展示。

期 日 令和5年9月20日(水)～25日(月)
 会 場 総合文化芸術センター
 来場者数 1,824人(昨年度1,412人)
 担当課 文化生涯学習課

②ひらかた人形劇フェスティバルの開催



乳幼児から大人まで、多くの人に人形劇の楽しさを体験してもらうことを目的に市内外の人形劇団が発表。また、枚方人形劇連絡会発足35周年を記念してプロの人形劇団による人形劇公演を「プレフェスティバル」として開催。



期 日 ①プレフェスティバル 令和6年2月10日(土)
 「エルマーとりゅう〜カナリヤア島のぼうけん」
 (人形劇団プーク)
 ②フェスティバル 令和6年3月9日(土)～10日(日)
 会 場 ①総合文化芸術センター
 ②牧野生涯学習市民センター
 来場者数 ①234人
 ②2,602人(昨年度1,236人)
 担当課 文化生涯学習課

③「ひらかた市民大学」(5大学)

市民に、市内大学の専門知識・情報を学習できる講座を提供し、生涯学習の推進と生きがいの増進を図ることを目的として市内大学との連携により、学習機会を提供する。

- ・大阪歯科大学「歯周病菌コントロールで歯周と全身の健康へ」
令和5年10月28日(土) 50人
- ・関西外国語大学「生成AIは人間のあり方をどのように変えるのか？」
令和5年11月4日(土) 62人
- ・摂南大学「あなたの骨、大丈夫ですか？」
令和5年11月4日(土) 29人
- ・大阪工業大学「大学のプログラミング体験」
令和5年11月18日(土) 26人
- ・関西医科大学「健康寿命延伸を目指して」
令和5年12月3日(日) 119人



(関西医科大学)

会場 各大学

担当課 政策推進課、文化生涯学習課

④子ども大学探検隊(5大学)

次代を担う子どもたちに市内5大学に親しみを感じてもらい、将来への夢を育むきっかけをつくる取り組みとして、小学生を対象に実施。

- ・関西外国語「英語を使ってみよう！試してみよう！」 令和5年10月21日(土) 22人
- ・関西医科大学「今の医療に触れる体験実習」 令和5年10月28日(土) 22人
- ・大阪歯科大学「口の中について学ぼう」 令和5年10月29日(日) 18人
- ・大阪工業大学「Oh！ITカーニバル」 令和5年11月3日(金祝) 113人
- ・摂南大学「農業で働くキカイたち」 令和5年11月18日(土) 13人



会場 各大学

担当課 政策推進課、文化生涯学習課

(摂南大学)

⑤市と事業者、大学、団体等と連携した文化芸術事業の実施



総合文化芸術センターのネーミングライツパートナーである「枚方信用金庫」が、地域の文化芸術の振興に貢献するため、パートナーメリットを活用し、「第3回ひらしん美術展」を開催。令和5年度は市内在住の市PR大使であるたけうちちひろ氏の作品展「絵本作家・切り絵作家 たけうちちひろの世界」を開催。

期 日 令和5年10月25日(水)~30日(月)
会 場 総合文化芸術センター
来場者数 1,983人
担当課 文化生涯学習課



枚方ライオンズクラブと連携し、同クラブCN6 5周年記念チャリティコンサートとして大阪フィルハーモニー交響楽団枚方公演を開催。

期 日 令和5年10月7日(土)
会 場 総合文化芸術センター
来場者数 1,315人
担当課 文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

市民にとって普段あまり入ることのできない大学の教室等において、各大学の専門分野を生かした講座を聴講できることは貴重な経験であり、大学側も望まれていることから、今後も工夫等して実施していく。

施策の柱	Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち
基本的な施策	1. 文化芸術活動の拠点施設の整備及び活用
取り組みの方向性	<p>■(仮称)総合文化芸術センターを整備し、文化芸術活動の拠点施設として活用するとともに、生涯学習市民センターなどの地域の文化芸術活動を支える施設との連携により効果的な事業運営を行います。</p> <p>■市所蔵の美術工芸品を保存・公開等を行う観点を踏まえて、美術館を含む本市の美術施策の推進に関する基本的な考え方をまとめます。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①総合文化芸術センターの活用

老朽化した市民会館に代わる新たな文化芸術の拠点施設として、令和3年8月30日に本館を開館、令和4年4月1日に別館（旧メセナひらかた会館）をリニューアルし、複合施設としてグランドオープンした。令和5年度は音楽や演劇、伝統芸能など79の事業を実施。



担当課 文化生涯学習課

②文化芸術活動の拠点施設での優れた文化芸術事業の実施【再掲】

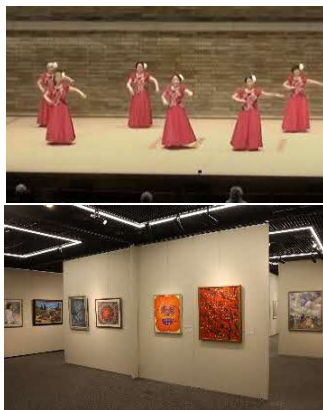
まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術の拠点施設である総合文化芸術センターにおいて、令和5年度は79事業を実施。

- ・ウィーン少年合唱団 令和5年5月5日(金祝) 1,226人
- ・日生劇場ファミリーフェスティバル 2023 公演「精霊の守り人」
令和5年8月13日(日) 1,406人
- ・劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」 令和5年9月15日(金) 1,468人
- ・新国立劇場バレエ団「クラシックバレエハイライト」 令和6年3月9日(土) 1,398人



会場 総合文化芸術センター
担当課 文化生涯学習課

③「市民総合文化祭 2023」の開催【再掲】



生涯学習市民センターなどで行われている市民の日ごろの文化芸術活動の発表の場の提供や、ジャンルを超えた交流、賑わいを創出するために実施。舞台部門（合唱、吹奏楽、演劇、人形劇、三曲、舞踊（日本舞踊）、落語、器楽・声楽、アラカルト）、展示部門（絵画、書道、写真）、短歌・俳句部門（短歌・俳句）の計3部門14ジャンルを開催。

期 日 令和5年8月26日(土)～9月3日(日)
会 場 総合文化芸術センター
来場者数 7,575人（昨年度6,545人）
担当課 文化生涯学習課

④「第3回枚方市展」の開催【再掲】



文化芸術を担う人材の育成や美術活動の更なる活性化を目的として、総合文化芸術センターの開館を機に開催している公募選抜美術工芸展。日本画、洋画・版画、彫塑・立体、工芸、書、写真の6部門を開催。審査員による審査の結果、入賞、入選した作品を展示。

期 日	令和5年12月20日(水)～25日(月)
会 場	総合文化芸術センター
来場者数	3,033人(昨年度2,156人)
応募作品数	318点(昨年度368点)
入選作品数	163点(昨年度180点)
担当課	文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

総合文化芸術センターの整備は別館を含めて完了したことから、今後は、各生涯学習市民センターなどで行われるなどした地域の文化芸術活動につながる催しの発展や市民のニーズに合った様々な事業を展開するための施設として利用していく。

あわせて、枚方市駅周辺地域のまちづくりの活性化につながるよう、周辺施設等との連携に取り組む必要がある。

施策の柱	Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち
基本的な施策	2. 文化芸術活動の拠点施設における専門的能力を有する者の確保及び育成
取り組みの方向性	<p>■(仮称)総合文化芸術センターにおいて、文化芸術事業を行うために必要な専門的能力や知識を有する者の確保・育成に努めます。</p> <p>■他都市で優れた施設運営を行う文化施設と連携した研修等の実施により、(仮称)総合文化芸術センターの運営に携わる職員の資質向上に努めます。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①専門性を有する人材の配置と育成等

総合文化芸術センターの指定管理者の公募の際に仕様で示した、「専門性を有する人材の配置と育成等」に基づき、指定管理者において、他の文化芸術施設で運営を経験している人材を配置するなどして、センターの運営を行うとともに、全国の文化芸術施設の職員等が集まる研修会に参加する等、職員の資質向上に努めた。

担当課 文化生涯学習課

②音響講習会



1日目は、音響技術で必要な電気の基礎知識と専門用語の解説、各機種の役割などを学習。2日目は、音楽ライブを想定して、演奏グループの楽器や歌声を最適に取り込む実技を体験する講習会。

期 日 令和5年7月25日(火)～26日(水)
 会 場 枚方公園青少年センター
 参加者数 31人
 担当課 子ども青少年政策課

③舞台照明実技講習会



1日目は、色の3色をはじめ、色による雰囲気の違いや照明機器の種類など照明の基礎について学習。2日目は、実際のステージに照明を当てながら光の強弱による色の変化を体験する講習会。



期 日 令和5年8月2日(水)～3日(木)
会 場 枚方公園青少年センター
参加者数 17人
担当課 子ども青少年政策課

〈今後の方向性等〉

総合文化芸術センターが、令和6年4月1日付で（一社）日本音響家協会の「優良ホール100選」に認定された。理由は、同センターは、高品質な事業を高頻度で行っていることや、貸館事業への配慮、ベテラン音響スタッフによる機材保守管理やイベント時の誠実な対応などが高く評価されたことによる。引き続き現在の品質を維持・向上していくよう、指定管理者に要請する。

施策の柱	Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち
基本的な施策	3. 地域における文化芸術の振興を支える人材の育成
取り組みの方向性	<p>■市民と芸術家や文化施設をつなぎ、地域において様々な形で文化芸術の振興を支える人材を育成します。</p> <p>■将来を見据えた文化芸術の振興に向け、芸術家を発掘し、育成に関する支援を行います。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①枚方市若手芸術家支援事業 アート・スプラウトシリーズ

- ・(ビジュアルアーツ) 枚方市にゆかりがある若手芸術家の発表の機会の提供。硝子絵・



テンペラ画・古典油彩技法を修得しヨーロッパの古典絵画技法の後継者として注目されている宮崎智晴「～わたしの線わたしの面～古典技法との対話展」を開催。

期 日 令和6年3月6日(水)～11日(月)

会 場 総合文化芸術センター

来場者数 280人

担当課 文化生涯学習課

- ・(パフォーミングアーツ) 枚方市アーティストバンクに登録している枚方市ゆかりの実力ある若手アーティストの実践の場の提供。コンサート等ワンコインで気軽に参加できるアートスプラウトシリーズ パフォーミングアーツ (4回) を開催

- ・Vol. 9 田邊優子エレクトーンリサイタル 令和5年6月1日(木) 302人
- ・Vol. 10 duo futaba クラリネット&ピアノコンサート 令和5年7月4日(火) 305人
- ・Vol. 11 三村詩音 ピアノリサイタル 令和5年10月3日(火) 307人
- ・Vol. 12 藤間皓也 日本舞踊への誘い 令和5年11月9日(木) 198人



会 場 総合文化芸術センター

担当課 文化生涯学習課

②小学校アウトリーチ事業【再掲】



音楽や舞踊（ダンス）の鑑賞や体験を通して、子供たちに多様な気づきの機会を提供する目的で、「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を小学校に派遣し、小学5年生または6年生を対象に全員が体験できるように実施。

期 日 通年
会 場 各市内公立小学校
参加者数 3,366人
実施校 28校（昨年度27校）
担当課 文化生涯学習課

③市民を対象としたワークショップ 「人形劇講習会」（4講座）



市内で活発に活動している人形劇の裾野を広げていくため、脚本作りから人形制作・演技まで行う講習会。

期 日 ①令和5年10月8日(日)～令和6年3月3日(日)
②令和5年10月2日(月)
会 場 御殿山生涯学習美術センター
開催数 ①初級講座を12回
②中級講座を1回
担当課 文化生涯学習課

④音響講習会【再掲】



1日目は、音響技術で必要な電気の基礎知識と専門用語の解説、各機種の役割などを学習。2日目は、音楽ライブを想定して、演奏グループの楽器や歌声を最適に取り込む実技を体験する講習会。

期 日 令和5年7月25日(火)～26日(水)
会 場 枚方公園青少年センター
参加者数 31人
担当課 子ども青少年政策課

⑤舞台照明実技講習会【再掲】



1日目は、色の3色をはじめ、色による雰囲気の違いや照明機器の種類など照明の基礎について学習。2日目は、実際のステージに照明を当てながら光の強弱による色の変化を体験する講習会。



期 日 令和5年8月2日(水)～3日(木)
会 場 枚方公園青少年センター
参加者数 17人
担当課 子ども青少年政策課

〈今後の方向性等〉

芸術家や文化芸術の振興を支える人材を育成することは、地域における文化芸術活動の活性化につながることから、引き続き育成に向け取り組みを進める必要がある。

施策の柱	Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち
基本的な施策	4. 文化芸術に関する情報の収集、蓄積及び発信
取り組みの方向性	<p>■文化芸術に関する各種情報を積極的に発信し、市民や文化芸術団体とそれらの情報を共有します。</p> <p>■本市で培われた文化芸術や本市ゆかりの美術作品等を次世代へ引き継ぐという観点を踏まえ、継続的な研究・保存・公開に取り組みます。</p> <p>■市民ニーズに応じた多様な情報発信手段により、効果的に情報を届けます。</p>

〈令和5年度の主な取組実績〉

①総合文化芸術センター情報誌の発行

総合文化芸術センターの施設や事業の紹介等を行う情報誌「H-Arts」を、年3回発行。



担当課
文化生涯学習課

②生涯学習市民センター情報誌の発行

各生涯学習市民センターの施設や事業の紹介等を行う情報誌「センターだより」をそれぞれの施設で年12回発行。

担当課 文化生涯学習課



③市政情報モニターの活用

毎月更新。本庁舎や市内各所に設置されているデジタルサイネージに、イベントの周知や各種啓発のための映像を放映。

約15秒間



期 日 通年(月1回更新)
会 場 市内10か所
担当課 広報プロモーション課

④枚方市ゆかりの作家の作品の保存・公開

- ・市役所別館 1 階ロビー（会場）



与繩 忠之「市民の」 ブラジリエ「五月の花束」

市所蔵作品等の展示。

期 日 通年

担当課 文化生涯学習課

- ・御殿山生涯学習美術センター（ロビー展示ケース）



藤原 雄「備前大壺」 河井 寛次郎「香器草絵」

市所蔵の美術作品を公開。市民が芸術に触れる機会を広く提供するとともに、市所蔵立体作品の有効活用を目的として実施。

期 日 通年

担当課 文化生涯学習課



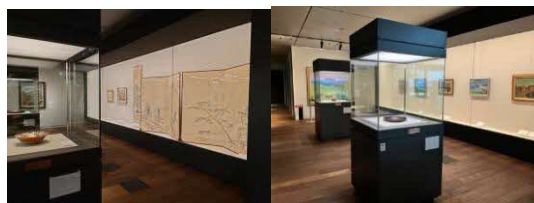
大阪美術学校関連作品の展覧会。大阪美術学校教授陣・卒業生に関する歴史的な作品や、枚方市が所管する作品等を広く市民に紹介することを目的に、1 階ロビー ガラスケース・立体展示ケースでの展示を実施。

期 日 令和 5 年 8 月 16 日(水)～29 日(火)

令和 6 年 2 月 6 日(火)～17 日(土)

担当課 文化生涯学習課

- ・総合文化芸術センター（市所蔵作品展示スペース）



テーマ「秋」

テーマ「海」

市民が芸術に触れる機会を広く提供するとともに、市所蔵美術作品等の有効活用目的として実施。

期 日 通年

担当課 文化生涯学習課

〈今後の方向性等〉

広報誌や情報誌、チラシ等といった紙媒体や、SNS や市政情報モニター（デジタルサイネージ）といった映像を活用し、それぞれの特色を生かした情報発信を行った。引き続き、市民が必要とする情報にアクセスしやすい方法を検討する必要がある。